



さいとう武次郎
市政報告

〒712-8046
倉敷市福田町古新田781-8
TEL 086-450-0555
FAX 086-450-0556



県内の消滅自治体は14自治体?

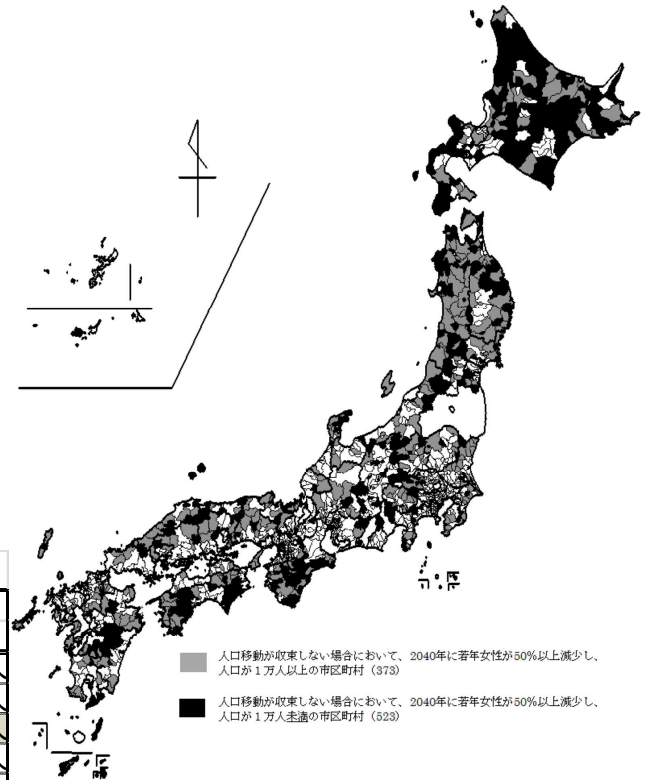
倉敷市は若年女性が**28.1%減**、人口は**11.1%減**と推測

消滅可能自治体は全国で896
人口減少社会への対応が迫られる

日本創生会議（人口減少問題検討分科会）は、「このままでは896の自治体が消滅しかねない」という衝撃的な調査結果を発表しました。

若年女性（20～39歳）人口の減少率が50%を超える（推計）896自治体が消滅可能自治体とされ、岡山県内には、14自治体あります。

さらに、2040年に人口1万人未満（推計）の523自治体は、「消滅可能性が高い」とされ、岡山県内では、吉備中央町、奈義町、新庄村、美咲町、和気町、西粟倉村の6自治体があります。



岡山県内の将来推計人口						
市町村名	若年女性	2040年		2010年		総人口
	人口変化率	若年女性人口	若年女性人口	人口変化率	総人口	
高梁市	-70.7%	910人	3,103人	-48.7%	18,290人	34,963人
備前市	-60.1%	1,412人	3,539人	-44.5%	20,986人	37,839人
吉備中央町	-58.2%	413人	990人	-41.1%	7,681人	13,033人
笠岡市	-57.8%	2,234人	5,290人	-37.2%	34,032人	54,225人
玉野市	-55.4%	2,886人	6,475人	-35.5%	41,691人	64,588人
奈義町	-55.3%	233人	521人	-40.6%	3,616人	6,085人
新庄村	-53.4%	31人	66人	-41.2%	563人	957人
美咲町	-53.1%	615人	1,310人	-40.1%	9,370人	15,642人
新見市	-53.1%	1,287人	2,741人	-41.0%	19,972人	33,870人
美作市	-52.3%	1,236人	2,590人	-41.0%	18,005人	30,498人
真庭市	-52.1%	1,942人	4,055人	-38.9%	29,941人	48,964人
和気町	-51.0%	691人	1,411人	-38.4%	9,469人	15,362人
瀬戸内市	-50.5%	1,956人	3,948人	-31.0%	26,136人	37,852人
西粟倉村	-50.2%	69人	138人	-33.7%	1,008人	1,520人
津山市	-49.3%	6,062人	11,959人	-31.0%	73,674人	106,788人
浅口市	-47.9%	1,908人	3,663人	-31.3%	24,822人	36,114人
久米南町	-46.4%	189人	353人	-42.3%	3,056人	5,296人
赤磐市	-42.7%	2,683人	4,685人	-24.5%	32,812人	43,458人
総社市	-39.8%	4,833人	8,022人	-19.9%	53,045人	66,201人
鏡野町	-39.2%	735人	1,209人	-31.3%	9,329人	13,580人
井原市	-39.1%	2,580人	4,237人	-27.4%	31,906人	43,927人
矢掛町	-37.7%	857人	1,377人	-30.8%	10,442人	15,092人
勝央町	-28.6%	877人	1,228人	-18.7%	9,103人	11,195人
倉敷市	-28.1%	43,917人	61,060人	-11.1%	422,884人	475,513人
岡山市	-26.1%	71,481人	96,664人	-74.0%	657,293人	709,584人
里庄町	-21.9%	974人	1,247人	-12.7%	9,526人	10,916人
早島町	-19.3%	1,296人	1,605人	-55.0%	11,542人	12,214人
合計	-33.1%	154,307人	233,486人	-18.3%	1,590,194人	1,945,276人

倉敷市は2040年に人口が422,884人（減少率11.1%）となり、若年女性（20～39歳）は2010年（61,060人）から28.1%減少し、2040年には43,917人となると推計されています（2040年の倉敷市の高齢化率は33.1%と推測する別のデータあり）。

増田元総務大臣は、「東京の出生率は極端に低く、地方の若者を吸い寄せるが再生産はしないブラックホールと化している。地方が若年人口を首都圏に吸い尽くされた末に消滅すれば、結局は東京も衰退する。とは言え、地方の隅々まで社会インフラを維持し続ける余力はないので、全国61の地方中核都市を防衛線とし、そこに資源と政策を集中させること」を訴えています。

人口減少社会への対策は急務です。倉敷市が果たすべき役割は大きいです。